

# 【 酒田駅周辺地区グランドデザイン検討懇談会 】

## 第 1 回 概 要 録

---

- 1 日 時 平成 26 年 6 月 30 日（月） 午後 2 時～
- 2 場 所 酒田市役所 4 階 第一委員会室
- 3 内 容 意見は以下のとおり

### （1）駅及び駅周辺に求められる機能に関する意見

#### < 玄関口機能についての意見 >

- 駅の周辺地域であるという特性を生かした検討を進めることが必要である。
- 今のような何も無い駅前ならば、観光という視点で日本庭園にするなど思い切ったことを考えた方がいい。
- 目立つような提案がされていないので、発想を変えて世界初とか日本初のような注目されるものから始めないとダメでないかと思う。
- 今まで進まなかったものであれば、新しい観点で変わったことを行い、酒田が誇れるようなものを行った方がいい。
- 酒田駅前は中心市街地内にありながら、少し離れば鳥海山が良く見える。そういう美しいロケーションのように、他所にはないものを生かした方向性を考えてみる必要がある。
- 駅前は全国的に見ても厳しい状況にあり、他と同じようなものを建てても魅力にならない。

#### < 交通結節点機能についての意見 >

- 駅前広場に全ての路線バスと高速バスが入ったターミナルが必要という意見もあれば、路線バスを集約して高速バスは現在の位置やジャスコ跡地でいいという意見など多様である。
- 市民で駅に行く人の多くは車なので、駅前には駐車場整備などの利便性を図ってほしい。

- 駅前の暫定駐車場の利用者が非常に多く、駅前に駐車場の需要があることを再認識した。
- 駅前の暫定駐車場が無料で開放されたことにより、タクシー利用が減っているので、早く整備を行い、無料駐車場を止めてほしい。
- 観光という視点では、駅からの二次交通が重要である。例えば、臨港線を活用すれば、国立倉庫跡地や港へのアクセスが良くなり、港や飛島への結節点としても生かされるものと思う。
- 鉄道利用者が年々減少しているが、補助をするなどすれば利用者が増えるのではないかと。

#### < 市民にぎわい交流機能についての意見 >

- 駅を中心として整備が進めば、人も多くなり賑わうものと期待している。
- 今回の検討で駅周辺の整備が進むことにより、駅前周辺の商業振興の状況が変わることを期待している。
- 駅周辺の賑わいづくりのためには、駅周辺の全体開発の計画をつくり、核となる魅力あるものを整備することが必要。核が出来ることで周辺の商店街が成り立つものと思う。
- 商業施設は難しいものと認識はしているが、何を造ればいいのかということから進めていく必要がある。
- 市で駅周辺の土地を買い上げて更地化した上で、民間に商業用地として売却する等の方法もあるのではないかと。単独のビルであれば、建てたいという人が出てくるように思う。
- 当日泊まれるところ探してみると意外と空いてないことが多い。それだけ交流人口が多いということであり、駅前には宿泊機能を備えたランドマークになる施設が必要と思う。
- 単独の機能で拠点を成立させようとするのは難しい。例えば、ホテルと関連して単に食事する場所ではなく、食事をしながら地元の人や文化と交流できる場があってもいい。あるいは、図書館も単なる図書コーナーとして成立させるのではなく、図書館が持っている様々なコンテンツを小規模なイベントスペースのような場所で映すようにするなど、外から来た人もコンテンツを選択して見られる工夫があってもいい。色々な機能をリンクさせていくことで、一つの施設から多様な機能を生み出す工夫が必要である。

- 庄内町から鶴岡の高校に進学する生徒が多い理由の一つとして、エスモールの存在がある。現在の酒田駅前では、大きな商業施設は成り立たないと思うことを踏まえると、商業施設よりも高校生視点に立った施設を必ず作ってほしい。
- 商業施設が駅前で難しいとなれば、自ずと公共的な機能をもった施設が必要なのではないか。
- 酒田は公益のまちなので、公益活動の支援センターや小さなボランティア団体、NPOなどに安く貸し出せるようなスモールオフィスなどの機能も必要な施設であると思う。
- 団体として海外との交流をしており、外国人労働者の研修施設などを全国に先駆けて作ることで、若者と交流できるような機会を創出することもいいと思う。
- 本間美術館の周辺には、いい感じの小路があるので、駅前からの誘導を行い、少し工夫すれば、いい街歩きが出来るものと思う。
- 夜の街としても駅周辺には魅力的な飲食店が多い。小さいながらも健全に営業をしており、そうした夜の街も絡めていくこともいいと思う。
- 現在の酒田郵便局は非常に不便であり、築年数も相当経っている。駅前に移転する可能性はないのか。
- 駅周辺でいろいろな機能が求められることは理解するが、例えば商業機能は駅舎に入れるなどし、必ずしも建物という発想でなく、季節ごとに次々と花が咲くようなスペースなどというような視点があってもいいものと思う。

#### < まちなか居住機能についての意見 >

- 人口の動態を考慮すると高齢化社会ではなく、超高齢化社会である。次期介護保険計画が来年度から3年間の計画を作ることから、そうした計画との整合も図ってほしい。
- 市では子育てに力を入れて人口流出に歯止めをかけるべく政策を展開しているので、その延長線上で本計画が連携できればいい。

## (2) その他、進め方等に関する意見

- 十分に議論を尽くせば、問題点も出てくる。思い切った議論をするべきである。
- 幅広く意見を聞くことも必要であるが、直接の利害関係者との濃密な議論の中で意見交換を行いながら、案を作るという考え方もあると思う。

- 駅の乗客数で高校生がかなりの割合を占めていることから、高校生の意見はポイントである。
- 実際に利用しているユーザーの視点で考えることが大事である。
- 1日当たりの乗客数が約 1,300 人ということで、この規模だと整備できる施設も自ずと制約されるものと思うので、この辺は専門知識のある受託業者に整理をしてもらいたい。
- 将来的な高速鉄道の整備もあるので、鉄道事業者との進め方については、慎重に、あるいは力強く進めてほしい。
- 団地で景観計画を作ろうとしているところであり、民間の視点でこそ可能な提案もあるので、そういったノウハウを生かし、この検討懇談会と連携しながら取り組んでいきたい。
- 今までたくさん議論を行い、要望もしてきた。みんなが駅前をこのままでいいとは思っていないので、早く事業を進めてほしい。
- 庄内は県内の4ブロックの中でも人口減少率が高い。今後のまちづくりの中では人口減少社会を前提とした検討が必要であり、地域経済の中でどのような方法で交流人口を増やし、経済活動を活発化していくかというのも一つのテーマになる。